

エピコンT-500HS

2018年1月
No. 6032

タイプ	エポキシ樹脂系塗料				
特長	①各種石油製品、薬品に対しすぐれた耐性を有する ②不揮発分が従来品と比べ高く、VOCの削減ができる ③付着性・耐摩耗性・耐衝撃性などの物理的性質が優秀 ④耐水性・耐塩水性が優秀 ⑤耐温水性が優秀 ⑥COT PSPC認定製品です。				
用途	プロダクトキャリアータンク、原油タンク、ケミカルタンク他				
塗料性状	混合比率（質量比） ・ 主剤：硬化剤 = 85：15 色 ・ ・ ・ ・ ・ 赤さび、グレー、ライトグレー 密度 ・ ・ ・ ・ ・ 1.48 g/mL 容量NV（VS） ・ ・ 74 ± 2% 重量VOC ・ ・ ・ ・ 18.0 wt% 塗付量（理論値） ・ 200 ~ 320 g/m ² 膜厚 ・ ・ ・ ・ ・ ウェット 135 ~ 216 μm ドライ 100 ~ 160 μm				
	(D.F.T. 150 μm)	10℃	20℃	30℃	40℃
乾燥時間	指触硬化	2.5時間 24時間	1.5時間 12時間	30分 6時間	15分 4時間
塗装間隔	最短 最長 * 最長 **	24時間 28日 10日	16時間 21日 7日	14時間 14日 5日	8時間 10日 3日
可使時間	・ ・ ・ ・ ・	6時間	4時間	2.5時間	1時間
熟成時間	・ ・ ・ ・ ・	30分	20分	10分	—
塗装条件	塗装方法 ・ ・ ・ ・ ・ エアレススプレー、はけ塗り、ローラー塗り 気象 ・ ・ ・ ・ ・ 温度:10℃以上、湿度:表面温度:***露点+5℃以上 エアレススプレー時 ・ 適正粘度:1.3~1.8 Pa·s チップ No.: (GRACO) 619, 621, 623 二次(塗料)圧:14.7~17.7MPa ガン移動速度:60~80cm/秒 シンナー ・ ・ ・ ・ ・ エポキシ用シンナーB、 希釈率:0~10% [容量] 素地調整 ・ ・ ・ ・ ・ 新造・新設:造船所標準に準じます。販売店または弊社までお問い合わせ願います。 補修・保守:油分またはグリース等を除去し、塩分等は(高圧)清水洗いで、清浄にして乾燥させて下さい。発錆部・溶接部およびショップブライマーが損傷を受けた部分は、Sa2 1/2 (ISO 8501-1:2007)またはSt3 (ISO 8501-1:2007)に準じて処理して下さい。 水ブラスト:販売店または弊社までお問い合わせ願います。 素地調整の方法は、素地および期待・要求される防食性能に依ります。 適合下塗 ・ ・ ・ ・ ・ セラボンド2000 適合上塗 ・ ・ ・ ・ ・ —				
使用上の注意	①換気、火気に十分注意して下さい。なお、塗装のみならず、塗膜が硬化するまで換気が必要です。 ②2液混合形ですので、規定の混合比で混合してから使用して下さい。まず主剤を均一になるまで十分攪拌した後、硬化剤を徐々に加えて全体が均一になるまでさらに十分攪拌して下さい。さらに必要量シンナーを加えて、均一になるまで攪拌して下さい。 ③過剰なシンナーの添加は、タレ止め性や塗膜形成の低下を招く恐れがあります。 ④可使時間に制限がありますので必要量のみ調整して下さい。 ⑤* 次の条件を厳守下さい。 (1)直射日光が塗膜に当たらないようにマンホール等はサンネット等で覆うようにして下さい。 (2)塗膜が結露や浸水によって白化している場合、面粗した後に補修塗装を行ってください。 ⑥ブロック塗装時に曝露される場合は、**の最長塗装間隔を守って下さい。 ⑦***露点+5℃以上:鋼板に直塗りの場合、露点+3℃以上:塗装面に塗装の場合 ⑧SDSおよび容器に表示の注意事項をよく読んで取り扱い下さい。				

エピコントー500HS (2018年1月版)

荷 姿	20kgセット、5kgセット	
危険物表示	【主剤】	/ 【硬化剤】
	消防庁登録記号 . . .	1362SA / 136304
	引火点	17.5℃ / 46.5℃
	消防法危険物区分 . .	第一石油類 / 第二石油類
	爆発限界(体積%) . .	下限 1.1、上限 12.0
有機溶剤区分	第二種有機溶剤 / (非該当)	
備 考	①塗装条件等については最寄の弊社営業所にお問い合わせ願います。 ②塗料密度、VOCは塗料の代表配合(赤さび)の実測値です。色相により若干異なる場合があります。	

本製品説明書に記されている使用条件、使用上の注意事項等を逸脱した使用により生じる品質の異常は使用者の責任にて対応願います。当社が指定する以外の塗料、添加剤等を混合すると、単に品質の異常をきたすのみならず、安全上の問題が発生することもありますので、使用者の責任において安全性、品質等を確認願います。